

## ベヨネース列岩の火山活動解説資料（令和6年12月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やバースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

令和5年1月26日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、警戒事項に変更はありません。

### ○ 活動概況（図1）

気象衛星ひまわりでは噴火は認められておりません。25日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、ベヨネース列岩（図3）で、変色水域等の特異事象は認められませんでした。



2024年12月25日 海上保安庁提供

図1 ベヨネース列岩 25日の状況

- ・25日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、ベヨネース列岩で、変色水域等の特異事象は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図

ベヨネース列岩は、青ヶ島の南南東約 65km に位置します。

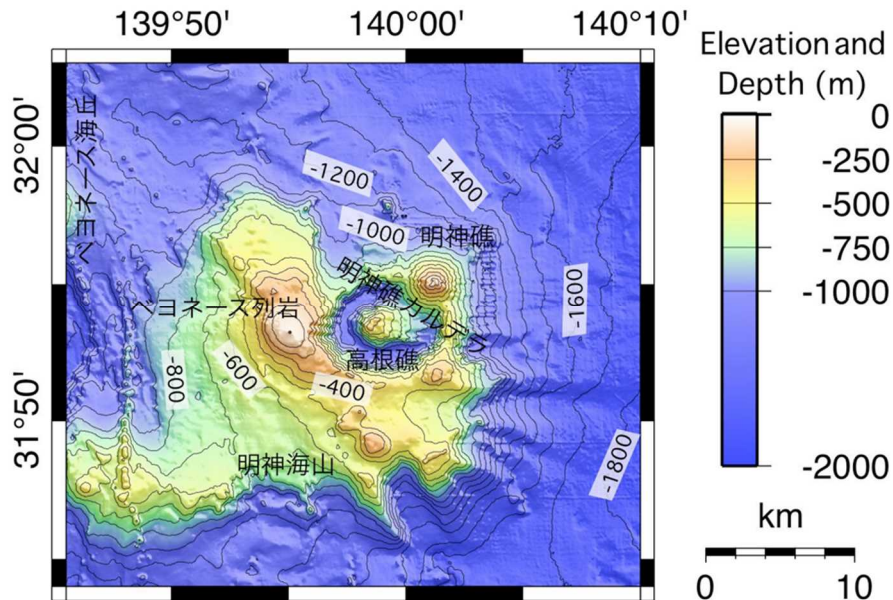


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。

明神礁の最浅部は水深 50m、北緯 31 度 55.1 分、東経 140 度 01.3 分です。

(日本周辺海域火山通覧 (第4版) (海上保安庁, 2012) より)

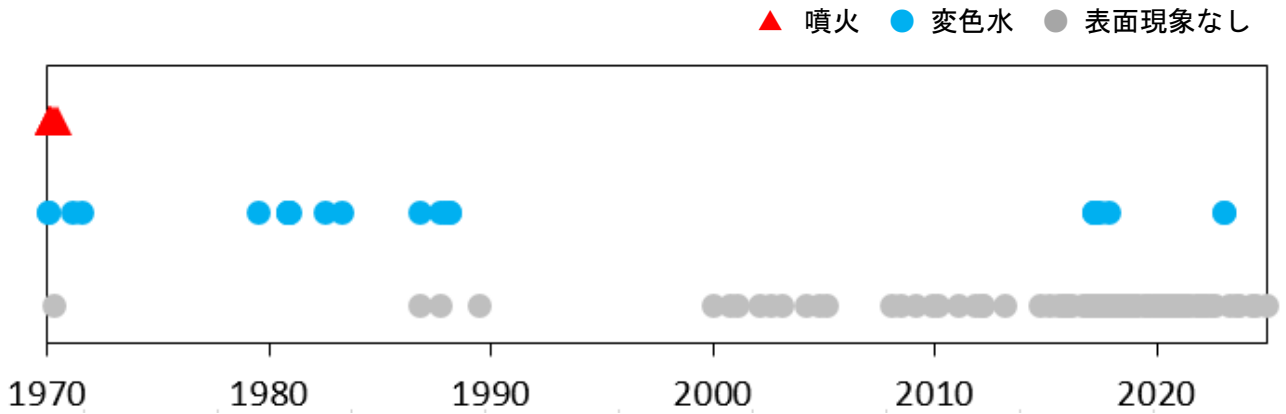


図4 ベヨネース列岩 1970年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。▲、●はそれぞれ噴火及び変色水が認められた観測を示します。●は変色水等が認められなかった観測を示します。

海上保安庁、海上自衛隊及び漁船等からの情報による。